

令和8年度 第2回

病院経営戦略会議報告

日時 令和8年4月21日（火） 13時00分～13時12分
場所 アッセンブリーホール
出席者 朝見院長、池田副院長、金子副院長、馬場副院長、原看護部長、塚本病院経営部長、大久保病院総務課長、澤田病院施設管理課長、白井病院財務課長、片岡医事課長、石井出情報管理室長、天野患者支援センター副所長
事務局 病院総務課 天本

内 容

◎片岡医事課長

【報告事項】

（施設基準の届出について）

- ・ 支援機器（ダビンチ）を使用した腹腔鏡下胃切除術等について、年間の手術件数が基準を満たすことができなかつたため、4月から算定ができなくなった。
- ・ 算定ができなくなった手術の分だけ支援機器の使用が少なくなるので、他の手術で支援機器を使っていたきたい。
- ・ 急性期看護補助体制加算については、これまで25対1で算定していたが、2月の実績が基準に届かなかつたため、4月は少し低い50対1で算定する。
- ・ 3月の実績は基準を満たせたので、来月からはまた25対1で算定できる。
→大腸がんや乳がんはどんどん増えているが、胃がんは減っている。大学病院でもそうなので、今後も算定するのは難しいのではないか。（朝見院長）

◎天野患者支援センター副所長

【報告事項】

（地域連携訪問活動実績報告（3月分）について）

- ・ 3月は病診連携で3件の地域連携訪問活動を実施した。患者支援センターの職員のみで新規の医療機関を回つたもの。
- ・ 令和7年度の合計訪問件数は111件だった。
→各科に訪問の希望のアンケートを取つたと思うが、どのくらいの件数を回れる

のか。希望が多かった場合、対応できるのか。(馬場副院长)

→今年度はすでに3件対応しているところだが、職員3名で対応しているので、あまり余裕はない。(患者支援センター副所長)

→例えば、患者支援センターでアポイントだけを取って、医師が単独で医療機関を訪問することは可能か。(馬場副院长)

→それであれば可能である。(患者支援センター副所長)

以上